



2026年8月期 第1四半期 決算説明資料

INGS

株式会社 I N G S
(証券コード: 245A)

2026年1月

2026/8期
1Q業績

- 既存店はラーメン事業99.1%、レストラン事業99.4%の水準にて推移し、新規出店における上乗せ分も寄与する中で売上高は2,131百万円(昨対比+361百万円)で着地
- 新規出店に係る先行費用がありながらも、経常利益は61百万円(昨対比+20百万円)で着地

2026/8期
1Q Topics

- 直営店ではラーメン事業で2店舗、レストラン事業で2店舗の計4店舗を新規出店。新宿東南口物件においては、「1物件」2事業(複数)ブランド出店を実現。加盟店(※)では計7店舗を新規出店
- 「焼壳のジョー」では麻辣湯等、中華×居酒屋の要素を強めたメニューにリニューアルを実施

※ラーメン事業におけるプロデュース・ライセンス店舗及び、レストラン事業におけるライセンス店舗を指しております。

Section1. 2026/8期 第1四半期 決算報告

2026/8期 第1四半期 業績サマリー(損益計算書)

3

- 売上高では、新規出店における上乗せ分も寄与したこと、売上総利益率は、メニュー変更や、売上高に占める直営店の割合が増えたこと等も背景に昨対比+0.8%にて着地
- 営業利益では、2025/8期は新店OPENまでの先行費用18百万円(昨対比+8百万円)がありながらも、昨対比+2百万円で着地
- 経常利益では、前期は上場関連費用及び株式交付費が発生していたこともあり、昨対比+20百万で着地
- 四半期純利益では、固定資産売却益等で+9百万の計上もあり、昨対比+28百万円で着地

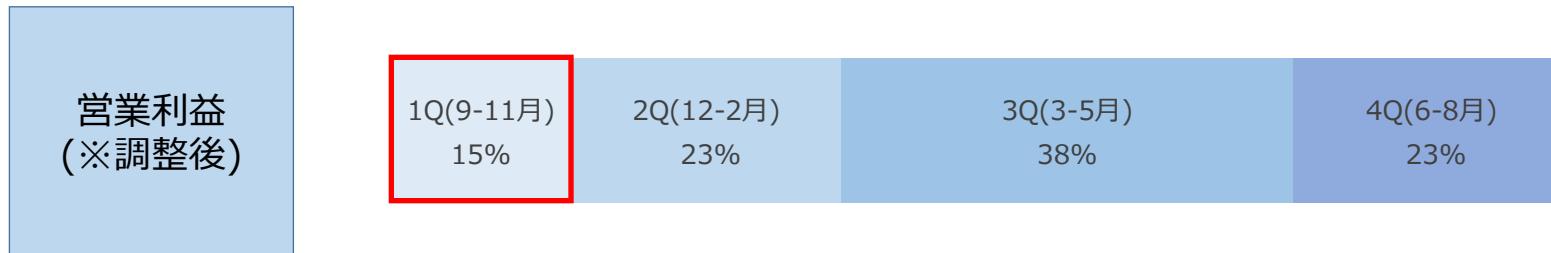
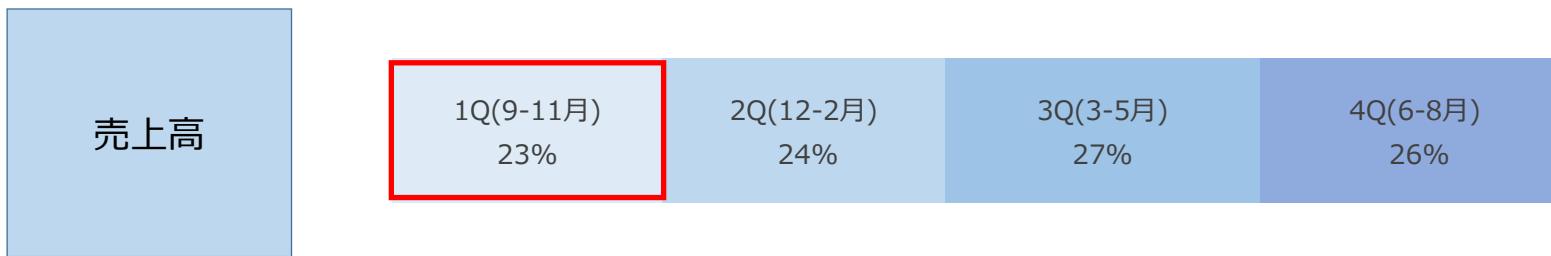
(百万円)	2025/8期 1Q	2026/8期 1Q	前年増減	前年比
売上高	1,770	2,131	+361	+20.4%
売上総利益	1,173	1,429	+255	+21.8%
営業利益	65	67	+2	+4.0%
経常利益	41	61	+20	+49.8%
当期純利益	12	41	+28	+222.0%
売上高総利益率	66.1%	67.1%	+0.8%	-
営業利益率	3.7%	3.2%	△0.5%	-

(ご参考)四半期毎の業績推移について

4

- 当社売上高につき、年末(忘年会シーズン)の12月(2Q)、年度末(歓送迎会シーズン)の3月やGWの5月(3Q)の時期に伸びる季節性が一定あること、また、新規出店を継続していく中で、**期末に近づく四半期ほど、年間に占める売上の割合は増加していく想定**
- 利益面に関しても、**第一四半期は他四半期対比で利益は少なくなる傾向で、これは2026/8期も同様の想定**

2025年8月期実績における四半期毎の内訳割合



※25/8期は増資による1-2Qの外形標準課税の計上、減資による3Qでの外形標準課税の控除があったことから、当該金額影響を除いた割合を表示しております。
尚、当該影響を除かない場合(調整前)は、1Q:13%、2Q:21%、3Q:43%、4Q:23%の割合となっております。

- 新規出店店舗の上乗せ、両事業における既存店の成長を踏まえ、2026/8期の前年比での売上高成長率は20%超の水準となった

売上高成長率

20.4%

新規出店数

直営店

4 店舗

加盟店

7 店舗

既存店売上高
(前年同期比)

ラーメン事業

99.1%

レストラン事業

99.4%

2026/8期 第1四半期 業績サマリー(セグメント損益)

6

(百万円)	25/8期 1Q	26/8期 1Q	前年増減
売上高(A)	1,770	2,131	+361
ラーメン事業	940	1,162	+222
レストラン事業	829	968	+138
営業利益	65	67	+2
ラーメン事業	72	84	+11
レストラン事業	△7	△16	△9
営業利益率	3.7%	3.2%	△0.5%
営業利益 + のれん等償却費(※)(B)	92	95	+3
ラーメン事業	72	84	+12
レストラン事業	19	10	△9
(B)÷(A)	5.2%	4.5%	△0.7%
ラーメン事業	7.7%	7.3%	△0.4%
レストラン事業	2.4%	1.1%	△1.3%

※2018年10月にキャンディーBOX社をM&Aにより完全子会社化、2021年8月に合併をしており、当該M&Aに伴うのれん償却費及び無形資産償却費(四半期 27百万円)となります

INGS

2026/8期 第1四半期 通期業績サマリー(貸借対照表)

7

- IPO時の増資資金を活用し、新規出店に係る設備投資(有形・投資その他の資産)が増加
- 無形固定資産はのれん等の償却があり、342百万円まで減少
- 総資産は4,555百万円、純資産は2,001百万円まで増加

(百万円)	2025/8期	2026/8期	増減	(百万円)	2025/8期	2026/8期	増減
流動資産	1,964	1,789	△174	流動負債	1,314	1,316	+2
現金及び預金	1,579	1,343	△235	買掛金	257	270	+12
売掛金	164	188	+24	1年内社債・長期借入金	480	466	△14
その他	220	257	+36	その他	576	580	+3
固定資産	2,598	2,765	+167	固定負債	1,288	1,236	△51
有形固定資産	1,513	1,685	+171	社債・長期借入金	1,055	995	△60
無形固定資産	370	342	△27	その他	232	240	+8
投資その他の資産	713	736	+23	純資産	1,960	2,001	+41
総資産合計	4,563	4,555	△8	負債純資産合計	4,563	4,555	△8

Section2. 2026/8期 第1四半期 Topics

Topic①-1：新規出店（直営店）

- 直営店はラーメン事業で2店舗、レストラン事業で2店舗の計4店舗を新規出店
- 10月の新宿東南口における新規出店については、**2事業有する弊社の強みを活かし、「1物件2事業(複数)ブランド出店を実現**(新規出店における機会損失を回避)

2025年9月

CONA
西新宿一丁目店
OPEN

2025年10月初旬

らあ麺 はやし田
品川港南口店
OPEN

2025年10月中旬～下旬

CONA 日本油党
新宿東南口店 新宿東南口支部
OPEN OPEN



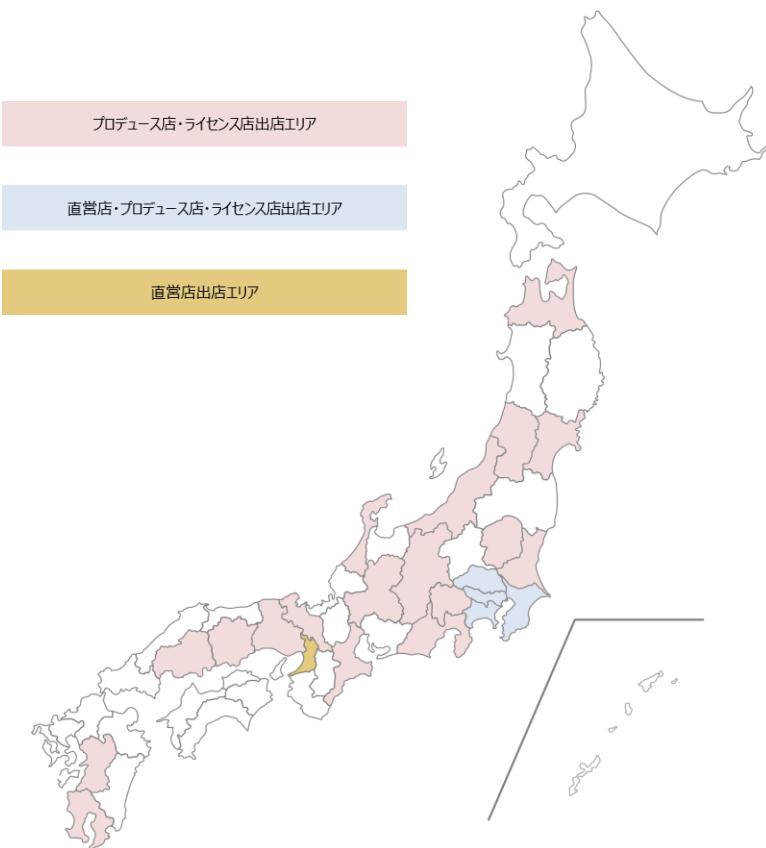
1物件2事業(複数)ブランド出店

Topic①-2：新規出店(プロデュース・ライセンス店)

10

- ラーメン事業及びレストラン事業における加盟店については、**新規で7店舗**がオープン
- 出店エリアにつき、**一都三県、地方**それぞれで展開が広がっている状況

直営店・プロデュース、ライセンス店 出店済エリア(2025年11月末時点)



※一都三県は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を示しております。

(ご参考)エリア毎の出店戦略イメージ

	一都三県 (※1)	一都三県 (※1)	一都三県以外 (※2)	一都三県以外 (※2)
	都市型	郊外・ロード サイド型	都市型	郊外・ロード サイド型
ラーメン事業 直営店	✓	✓	—	—
レストラン事業 直営店	✓	—	—	—
ラーメン事業 プロデュース店	✓	✓	✓	✓
レストラン事業 ライセンス店	✓	—	✓	—

※1 直営店：一都三県の主に乗降客数10万人以上のエリア
プロデュース店、ライセンス店：一都三県の主に乗降客数3万人以上のエリア
での出店を想定

※2 直営店はあくまで一都三県中心の出店ではあるものの、一部、大阪府等の3大都市圏の出店も想定

INGS

Topic②：焼壳のジョー メニュー変更

11

- 「焼壳のジョー」にてメニュー構成の大幅なリニューアルを2025年10月末に実施
- 麻辣湯といったトレンド商品や、点心、水餃子などの商品を導入することで、中華×居酒屋の要素を強めたラインナップに変更している

焼壳のジョー 2025年10月末以降の新フードメニュー



INGS

参考資料①. 会社概要

事業内容-ラーメン事業（直営店部門）

13

- ラーメン事業 直営店部門は、「らあ麺 はやし田」が主力ブランドであり27店舗を展開
- 2023年3月に1号店をOPENした「日本油党」も足元出店を増やしている

ジャンル	醤油	油そば	塩	煮干し	家系	スタミナ
ブランド	 らあ麺 はやし田 らあ麺 時々麺か くろ渴 ふじ松	 油日 党本	 金目鯛 らーめん 鳳仙花	 煮干中華そば 銀蘭	 横浜家系ラーメン みどり	 スタミナラーメン 鬼山
概要	<ul style="list-style-type: none">✓ はやし田は、ラーメン事業の主軸ブランド✓ 鴨、大山鶏の丸鶏を使用した醤油ベースのらあ麺を提供	<ul style="list-style-type: none">✓ 油そば専門店✓ ベーシックな油そばから、釜玉油そば、たらこバター釜玉 油そば等を提供	<ul style="list-style-type: none">✓ 金目鯛のアラを使用した鯛スープ✓ のど越しを重視した全粒粉入りの香り豊かな細麺を使用	<ul style="list-style-type: none">✓ 煮干スープと、豚骨、鶏ガラ等の数種類の動物系食材を併せたダブルスープをベースとしたラーメン	<ul style="list-style-type: none">✓ 豚や鶏の骨を大量に使用し、肉感や骨感も残し、濃厚なスープを炊き出した家系ラーメン	<ul style="list-style-type: none">✓ 豚ベースのスープに漆黒の甘醤油、極太麺、背脂、ニンニク、ショウガをガツンと効かせたパワフルなスタミナラーメン
商品写真						

※2025年8月31日時点

INGS

- ラーメン事業 プロデュース部門では、ラーメン店の開業に関する支援、当社のPB(プライベートブランド)商品を販売。屋号は当社のブランド名でなく、**オーナー様独自の屋号**にて展開
- 開業時に負担する加盟金や研修費をゼロとしていること、また、居抜きでの出店も可能であることから、オーナー様は**投資額を抑えた出店が可能**

プロデュース部門の特徴

項目	概要
屋号	オーナー様の オリジナルブランドとすることが可能
指定食材	メインの食材 (麺、タレ、スープのみ) (※)
加盟金	0円
研修費	0円
月額フィー	月額5万円

プロデュース部門の店舗出店事例



●CONAの特徴

- ① 生地から手作りの窯焼きPIZZA
30種以上がALL500円
- ② サイドメニューも500円～
- ③ WINE BOTTLEが1本1,900円～

●焼壳のジョーの特徴

- ① ありそうでなかった焼壳酒場
- ② 烧壳1個99円
- ③ 中華料理から居酒屋定番おつまみ、
SNS映えするメニューも提供

いずれのブランドも客単価2,500円前後となっており、リーズナブルな業態
⇒直営店のみならず、ライセンス店を通じ、地方含めた全国展開が可能なモデル



- 当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に中長期で当社株式を保有いただくこと、当社事業、運営店舗の認知や、理解の拡大を図ることを目的として株主優待をご用意
- 優待の内容としては、店舗で利用できる食事券に加え、店舗へのご来店が難しい株主様のことも勘案し、ECサイトでの利用も選択肢としてご用意

保有株数	優待内容
100株～299株	2,000円相当(1,000円相当×2枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間4,000円相当)
300株～499株	6,000円相当(1,000円相当×6枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間12,000円相当)
500株以上	10,000円相当(1,000円相当×10枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間20,000円相当)

電子チケット 利用可能範囲

- ① ラーメン事業 直営店…1枚につき、券売機及びメニュー表からお好きな一品が無料
- ② レストラン事業 直営店及びライセンス店(一部店舗除く)…上記金額を割引
- ③ ECサイト(らあ麺の冷凍商品)…上記金額を割引
(それぞれにつき、ご利用代金が電子チケットの金額を下回った場合には、差額の返金はございません。)

対象となる株主様

継続して半年(6ヶ月)以上、当社株式を100株以上保有する株主様を対象

株主優待制度の開始時期及び贈呈の時期

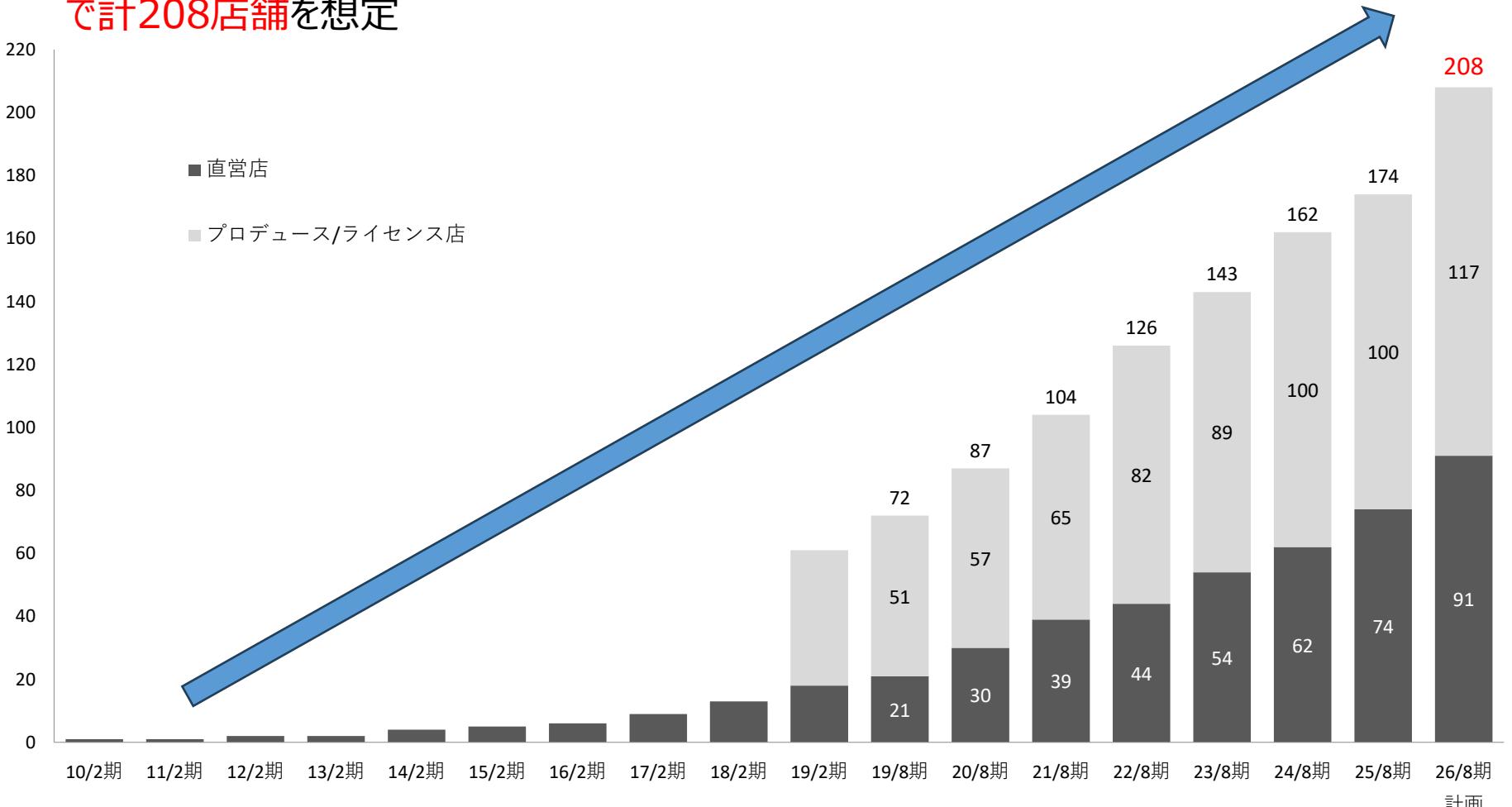
初回は2025年2月末及び2025年8月末時点の当社株主名簿に、同一株主番号で連続2回記載され、当社株式を100株以上保有されている株主様を対象として株主優待制度を開始。対象となる株主様には2025年11月にご案内をお送りする予定(株主総会招集通知に同封を予定)

参考資料②. 2026/8期 業績見通し(変更なし)

店舗数推移及び2026/8期 新規出店計画

18

- コロナ禍においても新規出店を継続、2025年8月末時点の合計店舗数は174店舗
- 2026/8期は直営店でラーメン事業11店舗、レストラン事業8店舗の計19店舗出店(純増では17店舗を想定)、プロデュース・ライセンス店では純増17店舗を計画し、2026年8月末で計208店舗を想定



計画

INGS

- 前述の新規出店数の想定を踏まえ、売上高の構成としては直営店の割合が引き続き前年対比増加する想定とし、全社で24%の成長率を想定
- 既存店の売上高水準については、2事業ともに前年比100%程度を想定
- 営業利益率については、人件費の増加は織り込みつつも固定費割合の減少も踏まえ、前年同程度を想定

(百万円)	2025/8期	2026/8期	前年増減	前年比
売上高	7,732	9,590	+1,858	+24.0%
ラーメン事業	4,083	5,214	+1,131	+27.7%
レストラン事業	3,649	4,377	+728	+19.9%
売上総利益	5,175	6,423	+1,247	+24.1%
営業利益	490	596	+105	+21.4%
経常利益	449	565	+115	+25.7%
当期純利益	272	339	+67	+24.8%
売上高総利益率	66.9%	67.0%	+0.0%	-
営業利益率	6.3%	6.2%	△0.1%	-

- 本資料に含まれる当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、またこれを保証するものではありません
- 本資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません